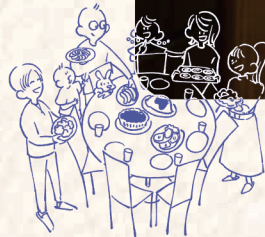




17:00

友達へのもてなしは、
美里町の名産で作ったお料理を



遊びに来てくれた友達に、とおきのメニューでおもてなししたい。そんな時は美里の名産品をふんだんに使ったお料理を用意しよう。

美里町にはブルーベリー以外にも名産品がたくさんあります。エゴマや様々な野菜、果物、美味しいお肉に、なんとダチョウ肉まで手に入る！

ちょっと変わったディナーでもてなししたいのなら、美里町の食材はともにおすすすめ！ しかもどれもヘルシーで健康的な食材ばかりなので、幅広い人に喜ばれることは間違いなしです。

美里の豊かな土地で育まれた名産品が、日々の食卓を彩豊かにしてくれる。こんな生活、ちょっと憧れますよね。

Miryoku point
美里町名産

＼おいしく健康に／
美里町名産品

健康ブームがきている今、美里町の特産品はまさに健康志向な方におすすすめしたいものばかり。野菜や果物、お肉などが安心安全な旬の食材が心と身体を健康にしてくれます。

→詳しくはP21



21:00

今日も1日
平和に過ぎた美里ライフ

気がつけばすでに夜。結由花ちゃんはお布団でぐっすりです。今日も一日、穏やかに楽しく過ごせたね。明日も、良い1日になりますように。

美里町は、人も暖かくて、優しく、とても治安が良い町。穏やかに過ごせるこの町は、きっとあなたの心の癒しになってくれるでしょう。

どうです？ あなたも、美里での生活、気になってきたでしょう？

＼美里町での新生活を応援します！／
美里町定住促進奨励金



→詳しくはP15

美里町に定住するため、新たに住宅を取得しようとするかたへ奨励金を交付します。町内転居、または建替えをされるかたも対象になるので、新しい生活を検討している人は詳細をチェック！

Miryoku point
定住促進

先輩移住者インタビュー
片山ファミリィ
に聞きました！



Katayama family

片山信吾さん (34)
恵利加さん (30)
結由花ちゃん (1)

Q1 美里町での生活で感じる『美力』は、どんなところですか？

信吾さん 良い意味で、ゴミゴミしていない。かといって不便すぎることもない、田舎すぎずにバランスがちょうどいいと思います。美里町のそういった生活のしやすさは美力ですよ。

Q2 移住を決めた一番の決め手は、どんなところですか？

信吾さん 家が欲しいなと思っていたので、都内となると難しい部分が多く、そういった部分でも美里町の場合は最適でした。住んでいて今まで嫌だったこともなく、むしろ帰ってきてからいい面しかないと思っています。私の両親と敷地内同居をしています。そのことについて妻も両親も積極的だったことは美里での生活を後押ししてくれました。

Q3 移住した際の第一印象は、いかがでしたか？

恵利加さん 私は福島出身なのですが、同じくらいの穏やかさでありながら生活する上での利便性は高い美里町はとても過ごしやすいなと思っています。東京で生活していた時もありませんが、正直都会での生活はすぐ飽きてしまっ(笑)。程良く田舎、だけど生活しやすい、というのはラッキーだったなと思っています。

メリハリある
生活ができます

美里町は美しい景観と、美味しいものに囲まれ
ゆったりとした生活が叶います。

ブルーベリー
おいしい！

自然いっぱい
ゆったり過ごせる

Q4 美里へ移住してよかった点は、どんなところですか？

信吾さん 生活環境が良いことでしょうか。水害なんかの心配もありませんし、安心して生活ができます。また、寄居スマートICが開通したおかげで近隣都市への移動も増えました。交通網が充実しているのも良いところだと思います。

Q5 今後の美里生活にどんな期待がありますか？

信吾さん 工業団地も増えているので若い人がもっと増えてくれたらいいなと思っています。美里町は仕事をする場所は少ないと思うので、そういった場所も増えるといいですね。

恵利加さん もっと子育て包括支援センターでの活動が活発になったらいいなと思います。もっと地域の子ども達と触れ合える機会があったら嬉しいですね。町では新しい公園の整備も検討しているとのことなので、そちらも期待しています！

Q6 美里町への移住を考えているかたへ一言お願いします

信吾さん 交通網も充実していますし、長瀬などの観光地も近い。オンオフな生活ができます。

恵利加さん 生活する場所としてはこの上なく最適な町だと思います。癒しです！

先輩に聞く美里町での暮らし①

古き善き古民家で
美力料理を

起業先輩 YUKIさん

地域のひととの
距離が近いからこそ
得られる充実感

美里町に2020年8月にオープンした古民家ギャラリーカフェ「竹zen(ちくぜん)」。

古民家を改装した古き善き店内で、地元食材を使ったお料理を楽しめます。このお店を営むのは、美里町へ移住してきたYUKIさんです。

元々親戚の方が暮らしていたこの古民家を残したいと考えていたYUKIさん。お母様のカフェを開きたいという夢を受け継ぎ、古民家カフェをオープンしました。177年の歴史を持つ古民家は古き美しさを持った伝統構法を残しつつ、約3年の月日をかけてリノベーション



したと言います。竹や土といった自然素材を生かし、日本の伝統的な工法を用いた店内は癒しそのものです。

そんなカフェでいただけるのは、地元美里町で作られた食材をふんだんに使用した見た目にも美味しい創作料理の数々。看板メニューの「美里ガレット」は、美里産のエゴマ粉を使用したヘルシーな生地にそ



古民家ギャラリーカフェ
竹zen
美里町甘粕807
080-5528-9462
11:00~16:00
月~金曜 ※完全予約制

有機農業を主体に

一緒に美里を盛り上げたい



美里ガレット 1,400円

Miriyoku point
起業支援

起業支援事業補助金



「美里町内で起業したい」、そんな事業者の方必見。町内産業の振興および活性化を図るため補助金を交付します。

→詳しくはP17

Miriyoku point
就農支援

農業次世代人材投資資金



「美里町内で就農したい」、美里の農業の将来を担う新規就農者に対し助成金を交付します。

→詳しくはP17

先輩に聞く美里町での暮らし②
365日 野菜と暮らす

就農先輩 櫻井智紀さん

美里の野菜を全国の方に
食べて欲しいですね

プロフィール
29歳でUターンで帰郷し、上里町の農業法人に転職。1年半後に独立し、野菜ソムリエの資格を生かし現在農業4年目。

あるものの、様々な経験挑戦ができる日々によりがいを感じているそうです。



昔からの変わらない美しい風景や伝統行事を残しつつ、新たな発展への動きも見られる美里町。この町ならではの農業を通じて美里町の発展に貢献したいというのが櫻井さんの思いです。そして、今後は10代、20代の若い世代の人にもっと地元の農業の美力を伝えていきたいと話してくださいました。



元々食品関係の小売業に勤めていた櫻井さん。30歳を目前に将来のことを考え、何か新しいことにチャレンジしたいと思ったことをきっかけに美里町でUターン就農されました。

大学生時代には、農学部で農業経済学の研究をしていたという櫻井さん。幼少期から美里町の豊かな自然の中で育った地元愛の強さから、美里町に戻り就農しようと決めるまでに時間はかからなかったと言います。実際に現場へ出るようになって4年目、農業をする上での苦労も

若くして農業を始めた櫻井さんがこだわるのは「見て楽しく、食べて美味しい品種選び」。野菜ソムリエの資格も持つ彼ならではの視点で、現在はキャベツ、白菜、ブルーベリーを中心に数十種類の農産物を生産されています。

「学生時代より農業に関わる活動をしてきました。その頃からの経験を通じ、農業は農産物だけではなく人と人との温かいつながりをも育てるものだと感じています。今後は、農業を通じて多業種の方が集える『場所』を美里町に作る活動をしていきたいと思っています。様々な職種の方が一丸となって美里町を元気にできるような、そんな将来の町づくりに農家として一翼を担うことができ

将来の町づくりに

農家として一翼を担いたい



親子あそび広場
親子でストレッチなど体を使う遊びをとおして、心身のリフレッシュを図る教室です。



どれみ広場(月1回)
3歳までのお子さんと保護者のかたを対象に、リトミック(音楽あそび)などで一緒に楽しく遊ぶ教室です。



あかちゃん広場(月1回)
子育てに関する不安や悩みを、参加者みんなで共有や相談し合い、地域の母親同士の仲間づくりや育児の心構えが学べる教室です。



マタニティ広場(年6回)
妊娠期のご夫婦を対象に、地域での仲間づくりや親になる心構えを学ぶことができる教室です。

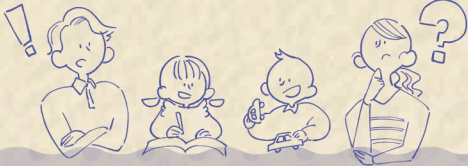


子育てのお悩み解決！ 身近な相談場所 ～子育て包括支援センター～

子育ての不安や悩みを一人で抱え込んだりしないために、美里町では「すこやか広場」を開催しています。

子育て包括支援センターとは、地域の皆さんが安心して子育てをすることができるよう、妊娠期から子育て期にわたるまでの悩みや相談をワンストップで受け付ける総合窓口です。妊婦・乳幼児健診、予防接種等の実施のほか、保健師や公認心理師等の専門員による個別相談を行い、親子の心身のサポートをします。また、子どもの年齢に応じた育児教室を開催し、親子が気軽に集まって、交流したり、遊んだり、相談したりできる機会をつくっています。

- 育児教室の紹介
- マタニティ広場 ●あかちゃん広場 ●どれみ広場
 - 親子あそび広場 ●カンガルー・かるがも教室 など



子育て世代に聞きました 美里の子育てQ&A

Q すこやか広場を利用したきっかけはなんですか？

A 子どもが生後数ヶ月経ったところで、ママ友や保健師さんに教わりました。様々な教室があり、子育てについても色々相談できるのでも助かっています。

Q 親御さん同士の繋がりはありますか？

A すこやか広場を利用することでいろんな方と知り合えました。美里町は大きな町ではないので、いま現在ある繋がりが今後長い付き合いになるのだと思うと、とても貴重な機会だと思います。

Q 町の出産子育て支援事業を活用していますか？

A 支援事業自体あまり知る機会がなかったのですが、対象のものがあればぜひ利用したいと思っています！

担当 美里町保健センター
★子育てに関する支援制度の情報はP16にて一部ご紹介！積極的に活用ください



先輩に聞く美里町での暮らし③
のどかな町でのびやか子育て

移住先輩 飯島ファミリー

美里町を通るたび
いつかここに住みたいと思っていた



家を建てる場所をあれこれと案じた末、職場へも実家へもおよそ30分で行くことのできる美里町へ移住しようと決心したそう。また、美穂さんは「美里町を通るたびにいつかここに住みたいと思っていたので直感的な部分もあります」と笑顔で話してくださいました。

美里町へ移住しての生活で感じるのは「近所付き合いの温かさだ」と言います。家庭菜園で採れた野菜をお裾分けしてくれたり、わからないことがあれば丁寧に教えてくれたり。人の温かさが何より心の支えになっているそうです。

また、自然豊かな風景も心の癒しになっています。光音ちゃんは良太さんと美穂さんと、3人で町をお散歩することが大好きです。自然に囲まれているからこそ出会う虫や生物、川や山などの風景。都心では味わうことのできない特別な経験がこの町なら叶います。

そんな飯島さん一家が活用しているのはミムリン健幸ポイント事業

Miryoku point 健幸サポート

ミムリン健幸ポイント事業

毎日のウォーキングや各種健診の受診、健康イベントに参加してポイントを貯めると、500ポイントごとに500円の「みさと元氣チケット」と交換ができます。健幸づくりをしながら生活もお得にできちゃう、一石二鳥な健康サポート事業です。



「美里町での子育てを言わずとどんなイメージですか？」

A 「穏やかな環境でのびやか子育て」というイメージです。自然豊かで人も優しく、安心して子育てができます。

Q 美里町で子育てをしていてよかったことはありますか？

A 子どもが小柄なので心配に思うことも多かったのですが、集団健診のほか個人健診も電話で受けてくれるので大変助かりました。きちんと子どもの姿を見たと適したアドバイスが貰えるので安心して子育てができます。

「美里町での暮らし」です。毎日のウォーキングや健康イベントに参加してポイントを貯めると、「みさと元氣チケット」と交換ができます。自然を感じながらの散歩を楽しむ傍で、お得なポイントも貯められちゃう。そんな健幸事業があるのも、飯島さん一家が美里生活を気に入っている理由の一つです。

お庭では趣味のオリーブの木を育て、町に二歩踏み出せば広大で豊かな自然と触れ合える。人と出会えば、温かな人の繋がりを感ずることができる。そんな生活環境の良さが、飯島さん一家が心と身体を健幸に保つ秘訣なのかもしれません。

飯島 良太さん (32)
美穂さん (40)
光音ちゃん (3)

